

令和 年度学生チャレンジプロジェクト事業
中間報告書

プロジェクト名 ゲームで知る「SDGs」

グループ名 ゲーム研究部

アドバイザー教職員名 システム情報工学科 伊藤智也
社会連携学術推進室 齊藤克治

代表者名 佐藤 重之

今後の活動と現時点の中間報告

1. ゲーム性を高めるための前準備

1) トレードオフカード（以後Tカード）の区分け

（SDGsの目標）17項目について、5つに区分けした。

区分け① 貧困、飢餓、健康 （6項目）

区分け② 人や国、教育や性別の平等性および経済成長 （8項目）

区分け③ まちづくり、エネルギー問題、技術革新の基盤 （8項目）

区分け④ 気候変動、海と陸の豊かさ、安全な水とトイレ （8項目）

区分け⑤ 平和と公正、パートナーシップ （4項目）

2) リソースカード（以後Rカード）の検証

① Rカードの運用量（使いやすいカード、使いにくいカード）の確認

② Tカード対応が容易なものの確認など

3) TカードとRカードの対応表作成

初心者向けに作るとして、Tカードごとに対応するRカードの一覧表の作成を行う。

4) 動画作成（見込みではあるが、現時点での活動環境ではかなり厳しい）

上記の項目を踏まえて試行回数を重ねてゲームとして確立させ説明を兼ねたゲームプレイ動画を作成（10～15分程度）し公開する予定

5) 説明書の作成

自分たちでカスタマイズを加えたゲームの説明書を作成する

2. ゲームの実践

1) 改良案を取り入れたゲームのルール

- ・モノポリー(アメリカで発案されたボードゲームの1つ)の形式を採用
- ・4人用協力型のルール

| | | | | |
|--------------|----------------|------------------|------------------|------------------|
| ワープマス | ★2 | ★1 | 1ドロップ 1ドロ | トレードオフ カードの山札 |
| ★1 | リソースカード の山札 | リソースカード の廃棄場所 | ★5 | |
| ★3 | | | ★4 | |
| 1ドロップ 1ドロ | ★3 | ★2 | スタートマス 兼ワープマス | トレードオフ カード廃棄場 |

各マスの説明

- ・スタートマス…各プレイヤーのスタート位置
- ・★1～5課題マス…トレードオフカードを置いているマスで、ランダムでトレードオフカードが置かれる。★の数は難易度を示しており、数字が高いにつれ、難易度が高くなる。
- ・1ドロップ1ドロマス…手札のリソースカードを1枚捨て新たに山札から1枚引く手札の入れ替えが可能なマス
- ・ワープマス…ここに止まったプレイヤーは、好きな課題マスに移動することが可能。手元のガードが課題に対応するリソースカードを確認して移動するのがよい

①スタンバイ

- ・トレードオフカード以下をTカードとする
 - ・リソースカード以下をRカードとする
- まず、★が書かれたところに、Tカードを置く。1～5のTカードの★は難易度。1)で区分けした内容にあわせて、下記のような難易度となる。
- ★1… 区分け③ まちづくり、エネルギー問題、技術革新の基盤 (8項目)
 - ★2… 区分け② 人や国、教育や性別の平等性および経済成長 (8項目)
 - ★3… 区分け④ 気候変動、海と陸の豊かさ、安全な水とトイレ (8項目)
 - ★4… 区分け① 貧困、飢餓、健康 (6項目)
 - ★5… 区分け⑤ 平和と公正、パートナーシップ (4項目)
- ・Rカードは、32枚フルセット。真ん中に山札としておく。
 - ・各プレイヤーは2枚手札としてスタート。
 - ・各プレイヤーは自分を示すコマをスタートマスに設置する。
 - ・じゃんけんなどで手番を決め、ゲームスタート。

②ゲームスタート

- ・モノポリー形式で行われ、6面体さいころを転がし、出た目のマス分移動する。とまったTカードマスでは、必ずRカード1枚置き、その後山札から1枚手札を補充する。これを順番に行っていき、Tカードマスに3枚置かれると、そのTカードがクリア条件を満たしていればTカードをマスから除外する。その後新しいTカードを設置する。なお、この時のクリア条件は難易度によって変わる。

○難易度イージー … 10歳くらいを目標とした内容。TとRの対応表を準備しておく。

イージーは、対応表にあったRカードが3枚揃ってない場合は、Rカードは全て山札に戻す（その後シャッフル）。3枚溜まらないと山札に戻す動作は行われない。

○難易度ハード … 対応表を使用せず、プレイヤーの思うように課題解決を行う。(大人向け)

ハードは、3枚目を置いた人が既に置いてあるRカードを用い、Tカードへの対応策を述べる。その内容について、他3名中2名が納得したらクリアとなり、その逆ならRカードだけ山札に戻す。

③ゲームクリア

合計で、Tカードを3枚除外できればクリアとする。

3. ゲーム考察について

1) カスタムルールによるテストプレイを行った結果と問題点

- ・各プレイヤーへの手札の量が2枚だと少なすぎる
- ・課題解決ができるかどうかの議論に時間がかかりゲームが進まない

等の問題が挙げられた、これらの改善をしつつプレイ動画の撮影を行い全体に公開できれば良いと考えている

2) テストプレイの様子



(適宜、アルコール消毒と換気を行っている)